褥瘡対策に関する評価

1 褥瘡の状態 (部位毎に記載)

部位(音												
1 ()	2 ()	3 () 4	t ()		1	2	3	4
褥瘡の状態の評価(DESIGN-R)	深さ	(0) 皮膚 損傷・ 発赤な し	(1) 持続 する発 赤	(2) 真皮 までの 損傷	(3) 皮下 組織ま での損 傷	(4) 皮下 組織を 超える 損傷	(5) 関節 腔、体 腔に至 る損傷	(U) 深さ 判定が 不能の 場合				
	渗出液	(0) なし	(1) 少量: 換を要しない	_	(3) 中等量 の交換	II.	(6)多量:1E 交換					
	大きさ(cm²) 長径×長径 に直交する 最大径(持 続する発赤 の範囲も含 む)	(0) 皮膚 損傷 なし		(6) 4 以上 16 未満	上 36 未満	上 64 未満	上 100 未満	以上				
	炎症·感染	(0) 局所 の炎症 徴候な し	り(創周) 腫瘍、熱	炎症徴候あ 辺の発赤、 感、疼痛)	_	5り(炎症徴	(9) 全身的 (発熱など					
	肉芽形成 良性肉芽が 占める割合	(0) あは浅評可能が為不		(3) 創面 の 50% 以上90% 未満を 占める	(4) 創面 の 10% 以上50% 未満を 占める	未満を		成されてい				
	壊死組織	(0) なし	(3) 柔らかし あり	い壊死組織	(6) 硬く厚い密着した壊死組織あり							
	ポケット (cm²) 潰瘍面も含 めたポケット 全周(ポケット トの長径× 長径に直交 する最大程) ー潰瘍面積	(0) なし	(6) 4 未満	(9) 4以上1	6 未満	(12) 16 以上	- 36 未満	(24)36以上				
DESIGN-	·R の合計点(3	 たの点数に	よ加えない)						M		\sqcap	

※該当する状態について、両括弧内の点数を合計し、「合計点」に記載すること。ただし、 深さの点数は加えないこと。

2 褥瘡の状態の変化

	評価日			1月前			2月前			3月前		
	(月	日)									
DESIGN-Rの合計点												

- 1 前月までのDESIGN-Rの合計点は、暦月内で最も低い合計点を記載する。
- 2 褥瘡の部位により合計点が異なる場合は、最も低い合計点を記載する。